

産学連携による開発途上国の 大学工学部の機能強化

文部科学省国際協イニシアティブ
第2回国内報告会

国立大学法人豊橋技術科学大学
工学教育国際協力研究センター(ICCEED)
准教授 池田 則宏



プレゼンテーション目次

- スリランカ国の概況
- スリランカ工学教育の現状と課題
- プロジェクトの目的・方法
- 今年度の活動・成果

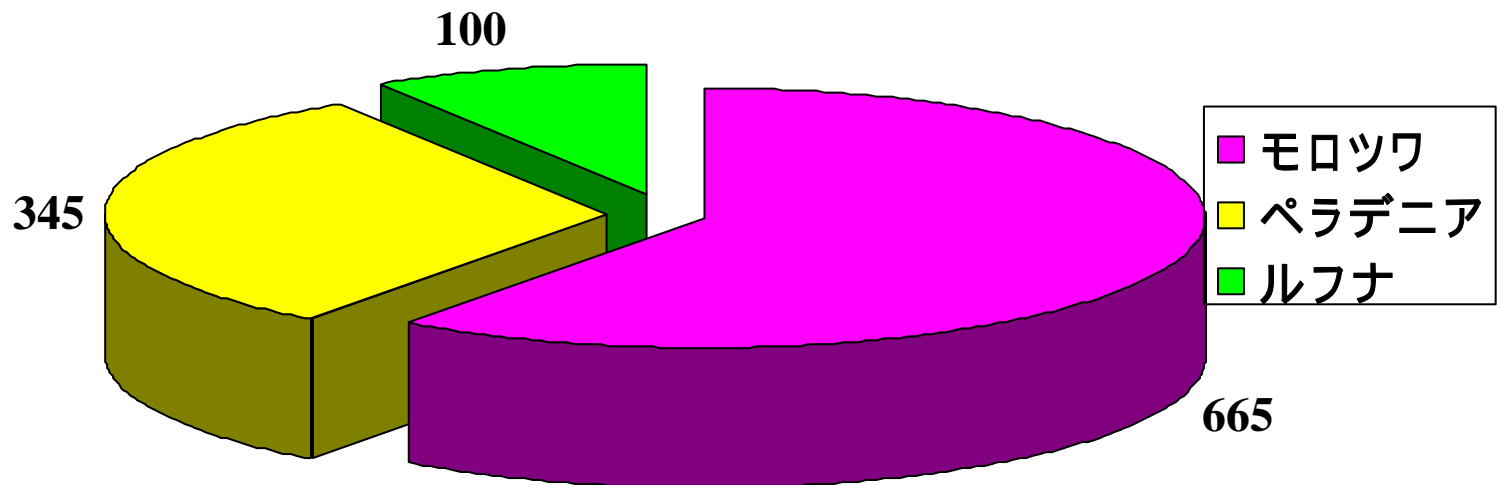


スリランカ国の概況

社会経済指数	%
人口	20 mn
GDP 成長率 (2000-2005)	4.5%
GDP/1人当たり US\$ (2005)	1197
GDP に占める投資の割合 (%)	24.4%
第1次産業のGDPに占める割合	23.0%
第2次産業のGDPに占める割合	16.8%
第3次産業のGDPに占める割合	60.2%
識字率	90.0%
識字率(女性 vs 男性)	94.0%
貧困指数	19.0%

スリランカ工学教育の現状と課題(1)

工学系大学への進学率 (0.8%)





スリランカ工学教育の現状と課題(2)

- **スリランカの工学系大学(UGC承認によるもの)**
 - **モロツワ大学(UoM)**
 - Chemical & Process, Civil, Computer science & Engineering, Electrical, Electronic, Materials, Mechanical Engineering, Earth Resources Engineering, Textile & Clothing Engineering
 - **ペラデニア大学(UoP)**
 - Chemical & Process, Civil, Computer, Electrical & Electronic, Mechanical, Production
 - **ルフナ大学(UoR)**
 - Civil & Environmental, Electrical & Information Engineering, Mechanical & Manufacturing Engineering
 - **Open University of SL (OUSL)**
- **その他工学プログラムや海外大学の分校はUGCの承認なし**



スリランカ工学教育の現状と課題(3)

- 問題意識(短期): 地域のニーズにあった技術を開発する能力を向上させる必要性
- 問題意識(長期): 国際競争に耐えうる独自の科学技術を 確立させる必要性
- スリランカの工学教育の課題
 - 研究・開発能力の不足
 - 産学連携の適切なメカニズムの欠如
 - 情弱な産業基盤 卒業生の製造業への就職は限られている



プロジェクトの目的・方法(1)

- プロジェクトの目的
 - 開発途上国における、工学系大学の産学連携機能を強化するモデルプロジェクトを構築する

工学系大学における教育・研究能力の向上

国内の産業への貢献



プロジェクトの目的・方法(2)

モロッコ大学における産学連携の課題(1)

- モロッコ大学の産学連携機関
 - Engineering Design center (EDC)
 - University Industry Interaction Cell (UIIC)
 - Uni-Consultancy Service (UNIC)
 - Center for Engineering Research & Postgrad Studies
- 有機的な連携機能がなく、特許、技術相談、企業との共同研究は少ない**



プロジェクトの目的・方法(3)

モロッコ大学における産学連携の課題(2)

- 知的財産の取り扱いについてはケースバイケースの対応
- 研究・開発活動の低迷
- 企業ニーズの把握不足
- 研究資金不足



プロジェクトの目的・方法(4)

日本側実施機関: ICCEED

- 目的: 開発途上国における工学教育協力の効果的な実施方法の研究およびプロジェクトの開発
- 部門 – ネットワーク開発部門
プロジェクト開発部門
- 運営協議会委員
 - 文部科学省大臣官房国際課
 - 外務省国際協力局無償資金・技術協力課
 - 国際協力機構(JICA)
 - 国際協力銀行 (JBIC)
 - 国立専門学校機構
 - 長岡技術科学大学



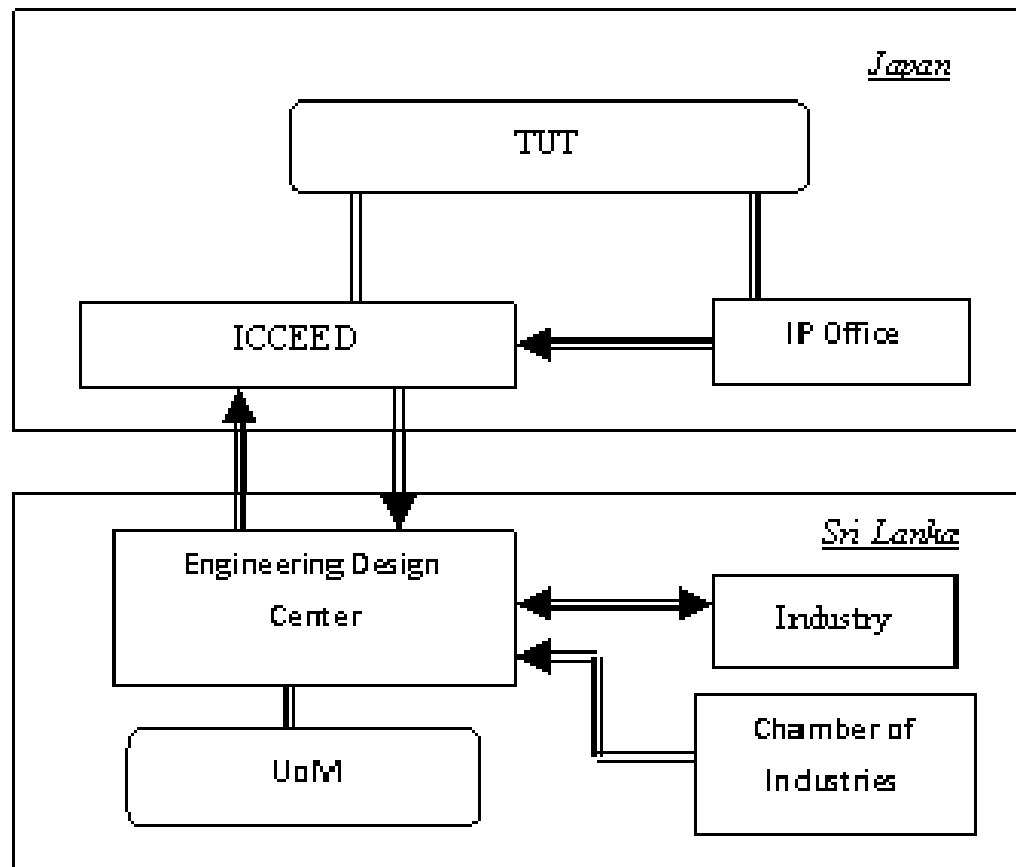
プロジェクトの目的・方法(5)

3年間のプロジェクトの目標

- 産学連携コーディネータの育成
- EDC を中心とした産学連携の諸規程作成と機能強化
- 産学連携のモニタリング・評価システムの確立

プロジェクトの目的・方法(6)

プロジェクトの実施体制





今年度の活動・成果(1)

- 産学連携を推進する5分野の選出と企業ニーズ調査(200社)
 - 繊維・アパレル
 - 鋳物・鋳造
 - 電気・電子部品
 - 紅茶
 - ゴム



今年度の活動・成果(2)

■ 知的財産セミナーの実施

- ・日時:平成19年11月16,17日
- ・場所:モロッコ大学
- ・参加者:大学、政府、企業関係者約40名
- ・内容:日本の知的財産法
アジアにおける知的財産整備状況



今年度の活動・成果(3)

■ 技術経営セミナーの実施

- ・日時:平成20年1月8,9日
- ・場所:モロッコ大学
- ・参加者:大学、政府、企業関係者約50名
- ・内容:産学連携の流れ
 - 技術開発による技術経営
 - 産学連携の重要性
 - 日本における産学連携の事例紹介



今年度の活動・成果(4)

- 産学連携コーディネータOJT研修の実施
 - ・日時:平成20年2月5日～22日
 - ・場所:豊橋技術科学大学
 - ・参加者:モロツワ大学教授5名
 - ・内容:企業ニーズの掘り起こし
ニーズ・シーズマッチング
企業への提案書作成



今年度の活動・成果(5)

産学連携の基盤確立に向けた
次年度アクションプランの策定
(3月上旬)

「産学連携による工学部機能強化」研修モデルの確立(3月中旬)



ありがとうございました